

横河電機株式会社

平成23年3月期 第1四半期
決算説明会



2010年8月10日

取締役 専務執行役員 八木 和則



YOKOGAWA

設備投資は、先進国で依然低調に推移した一方、新興国や資源国ではエネルギー関連プラント建設プロジェクトを中心に需要が回復。こうした中で販管費の徹底的な絞り込み、固定費構造の改革などの企業体質の強化に取り組み、前年同期と比較し増収、損失幅縮小

- 制御事業：欧米など先進国での需要は低調に推移したものの、東南アジア諸国、中国、ロシア、オーストラリアなどでは需要が回復。国内市場でも社会インフラ分野を中心に回復の動きが見られ売上高が増加。また、原価率の改善及び販管費の絞り込みにより営業利益が増加
- 計測機器事業：メモリ前工程向けテストの需要は本格的な回復には至らなかったものの、省エネルギー、新エネルギーや光関連の測定器については需要が回復、フォトニクスビジネスでも市況の回復が見られ、売上高が増加。増収に加え、固定費及び研究開発費の削減により、営業損失は大幅に縮小

(億円)

	FY09 1Q実績(A)	FY10 1Q実績(B)	差異(B-A)
受注高	798	880	82
売上高	645	662	17
営業利益	▲56	▲6	50
経常利益	▲60	▲11	49
当期純利益	▲68	▲24	44



FY10 経営計画

(億円)

		FY09 実績	FY10 計画	差異
受注高		3,152	3,400	248
売上高		3,166	3,350	184
営業利益		26	80	54
経常利益		2	50	48
当期純利益		▲148	0	148
為替レート	1\$= 1€=	92.61円 130.68円	90円 130円	▲2.61円 ▲0.68円



FY10 1Q 経営成績(対前年同期比較)

(億円)

		FY09 1Q	FY10 1Q	差異
受注高		798	880	82
売上高		645	662	17
営業利益		▲56	▲6	50
経常利益		▲60	▲11	49
当期純利益		▲68	▲24	44
為替レート	1\$= 1€=	96.76円 133.45円	90.95円 114.19円	▲5.81円 ▲19.26円

- ◆海外制御事業及び計測機器事業のうち測定器ビジネスの受注高が増加
- ◆増収、原価率の改善、低価法関係損・工事損失引当金の減少等により、営業損失が縮小
- ◆為替の影響を除いた増加額は、受注高104億円、売上高36億円、営業利益56億円



FY10 1Q/FY09 1Q 営業利益比較

(億円)

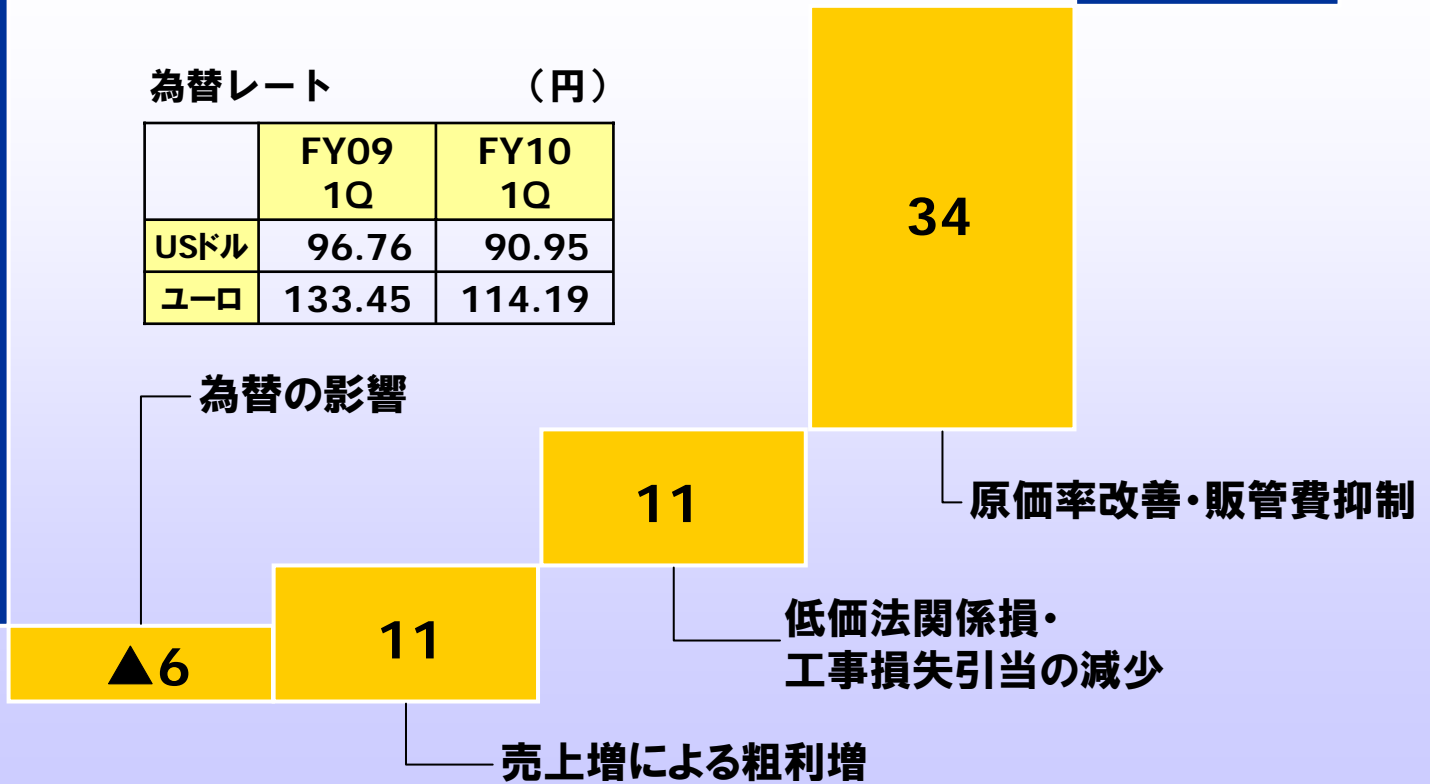
FY09 1Q
営業損失

FY10 1Q
営業損失



為替レート (円)

	FY09 1Q	FY10 1Q
USドル	96.76	90.95
ユーロ	133.45	114.19



四半期別経営成績比較

(億円)

	FY08				FY09				FY10
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
受注高	1,119	1,038	825	761	798	749	727	878	880
売上高	835	1,133	761	1,036	645	862	685	974	662
営業利益	▲43	93	▲58	55	▲56	32	▲3	53	▲6

◆制御事業、計測機器事業の市況の回復により、受注高が増加

◆売上高は、制御事業の国内売上を中心に期末集中の傾向があり、2Q、4Qに集中



FY10 1Q/FY09 1Q 営業外・特別損益比較

(億円)

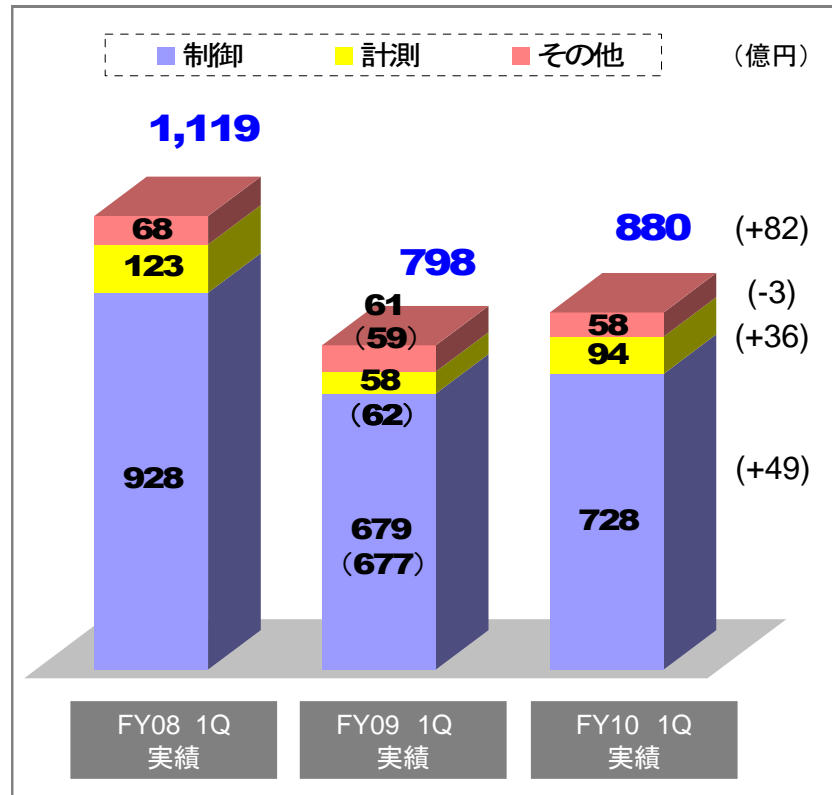
	FY09 1Q	FY10 1H 計画	FY10 1Q 実績
営業利益	▲56	0	▲6
営業外収益	8		13
営業外費用	12	▲20	18
経常利益	▲60	▲20	▲11
特別利益	2		0
特別損失	6	▲5	4
税引前利益	▲64	▲25	▲15
法人税等	4	15	9
当期純利益	▲68	▲40	▲24

◆為替差損の増加(FY09 1Q 0.5億円→FY10 1Q 6.3億円)、支払利息の増加(FY09 1Q 4.8億円→FY10 1Q 7.9億円)等により、営業外費用が増加

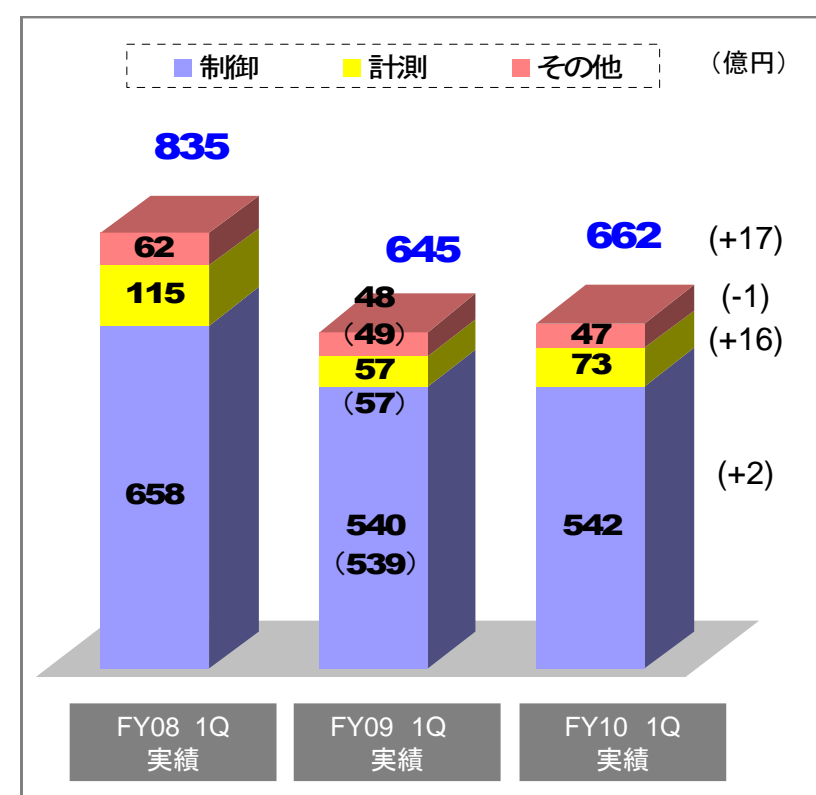
◆事業再編損・事業構造改善費用の減少(FY09 1Q 4.2億円→FY10 1Q 0.6億円)等により、特別損失が縮小

FY10 1Q セグメント別 受注・売上

受注



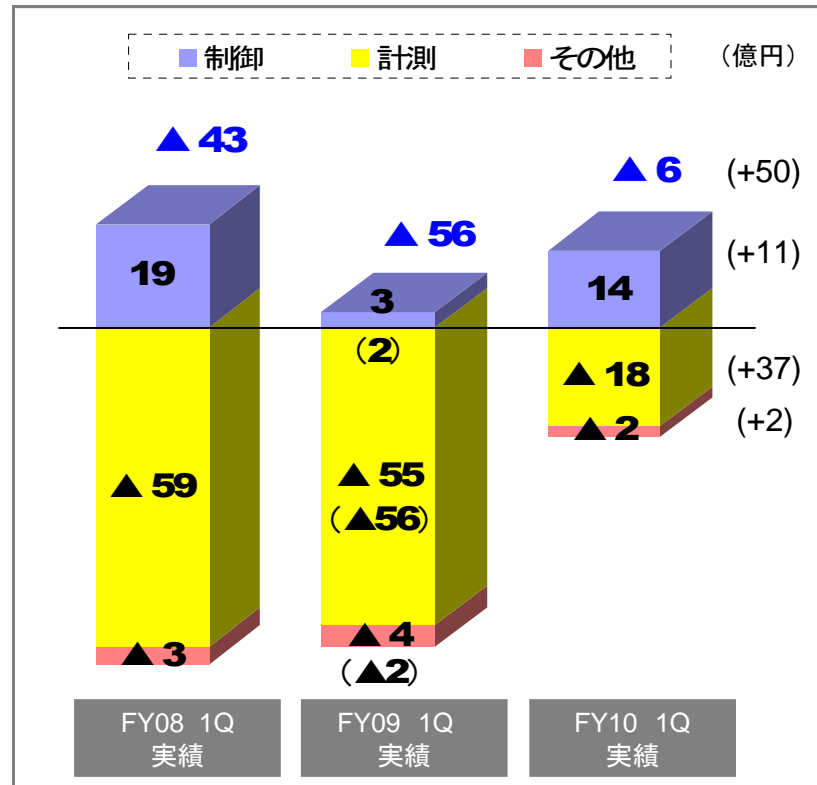
売上



※新会計基準の適用により、FY10からセグメント情報の集計方法が変わりました。FY08及びFY09()内の数値は、集計方法変更前の数値です。

- ◆**制御事業**: 東南アジア、中国、ロシア、オーストラリアにおける市況の回復により、前年同期と比べ受注高が増加
- ◆**計測機器事業**: 半導体テストビジネスにおけるメモリ前工程向けテストの需要回復が遅れたものの、測定器ビジネスにおける新エネルギー・省エネルギー、光通信関連測定器の需要が回復したことにより、受注高・売上高とも前年同期と比べ増加

営業利益



	FY08 1Q	FY09 1Q	FY10 1Q	差異
制 御	19	3	14	11
計 測	▲59	▲55	▲18	37
そ の 他	▲3	▲4	▲2	2
合 計	▲43	▲56	▲6	50

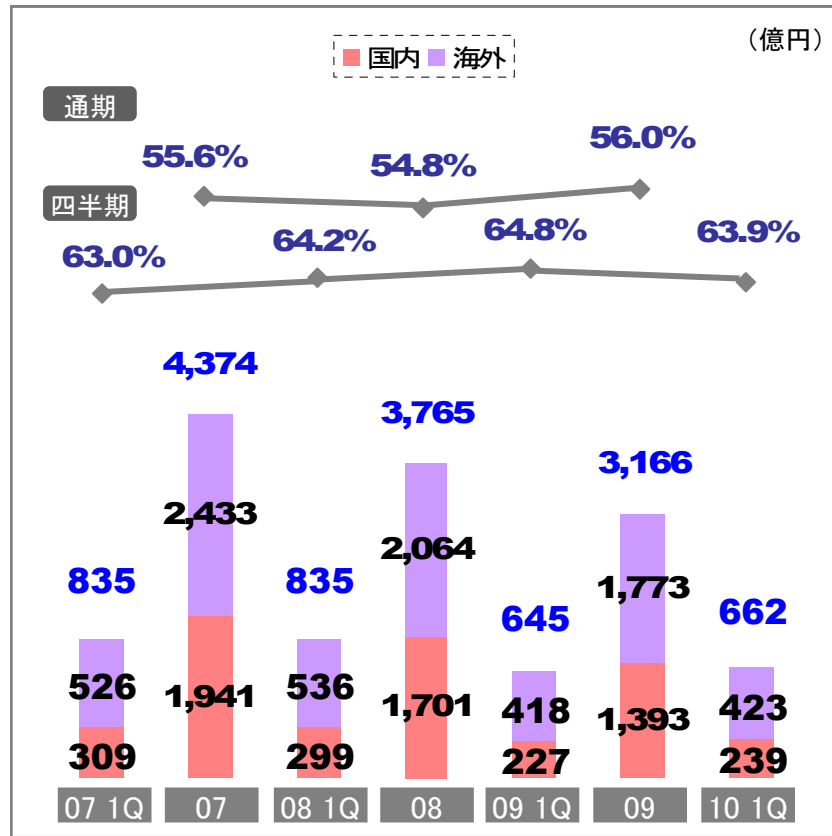
※新会計基準の適用により、FY10からセグメント情報の集計方法が変わりました。FY08及びFY09()内の数値は、集計方法変更前の数値です。

◆制御事業：制御事業へのリソース集中に伴う人件費の増加、研究開発費の増加を、原価率の改善や販管費の絞り込みで補った結果、営業利益が増加

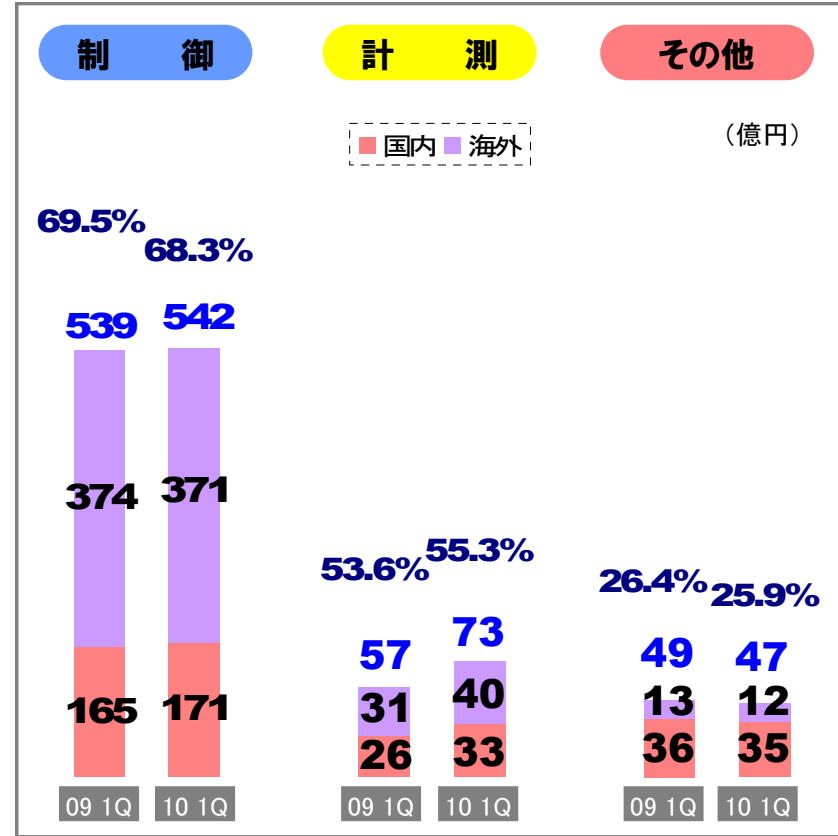
◆計測機器事業：売上高の増加による利益増に加え、固定費及び研究開発費の圧縮により損失幅が大幅に縮小

セグメント別 海外売上高

全 体



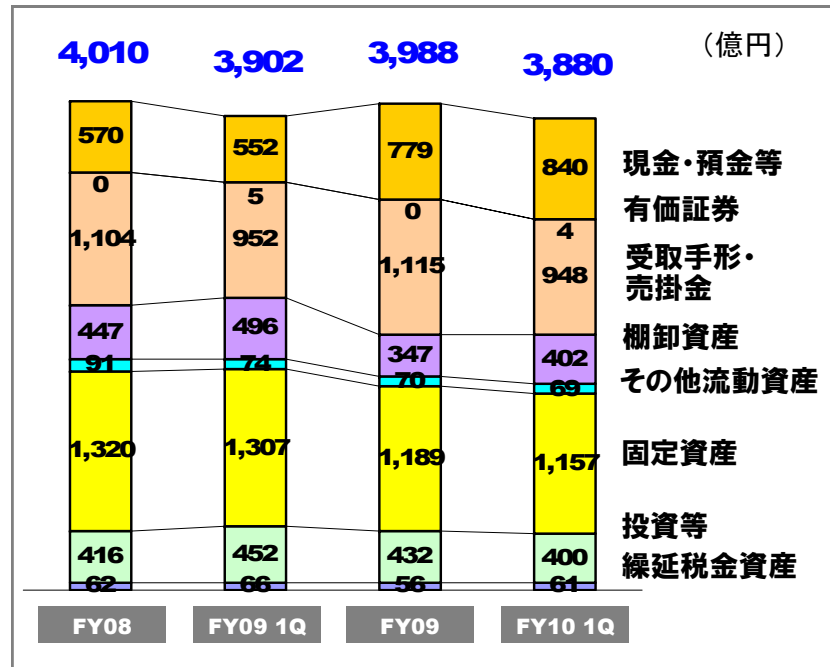
セグメント別



- ◆ 制御事業の海外売上高比率は、円高の影響により、前年同期と比べ低下
- ◆ 海外測定器ビジネスの売上高の増加により、計測機器事業の海外売上比率が上昇

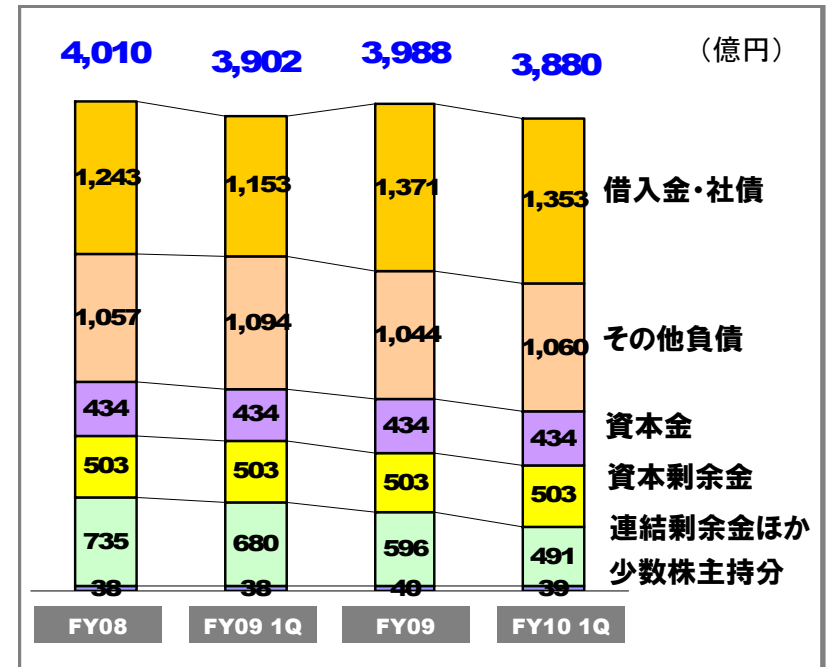
貸借対照表 推移

資産推移



	FY08	FY09 1Q	FY09	FY10 1Q
総資産回転率	0.89	-	0.79	-
自己資本比率	41.7%	41.5%	38.5%	36.8%

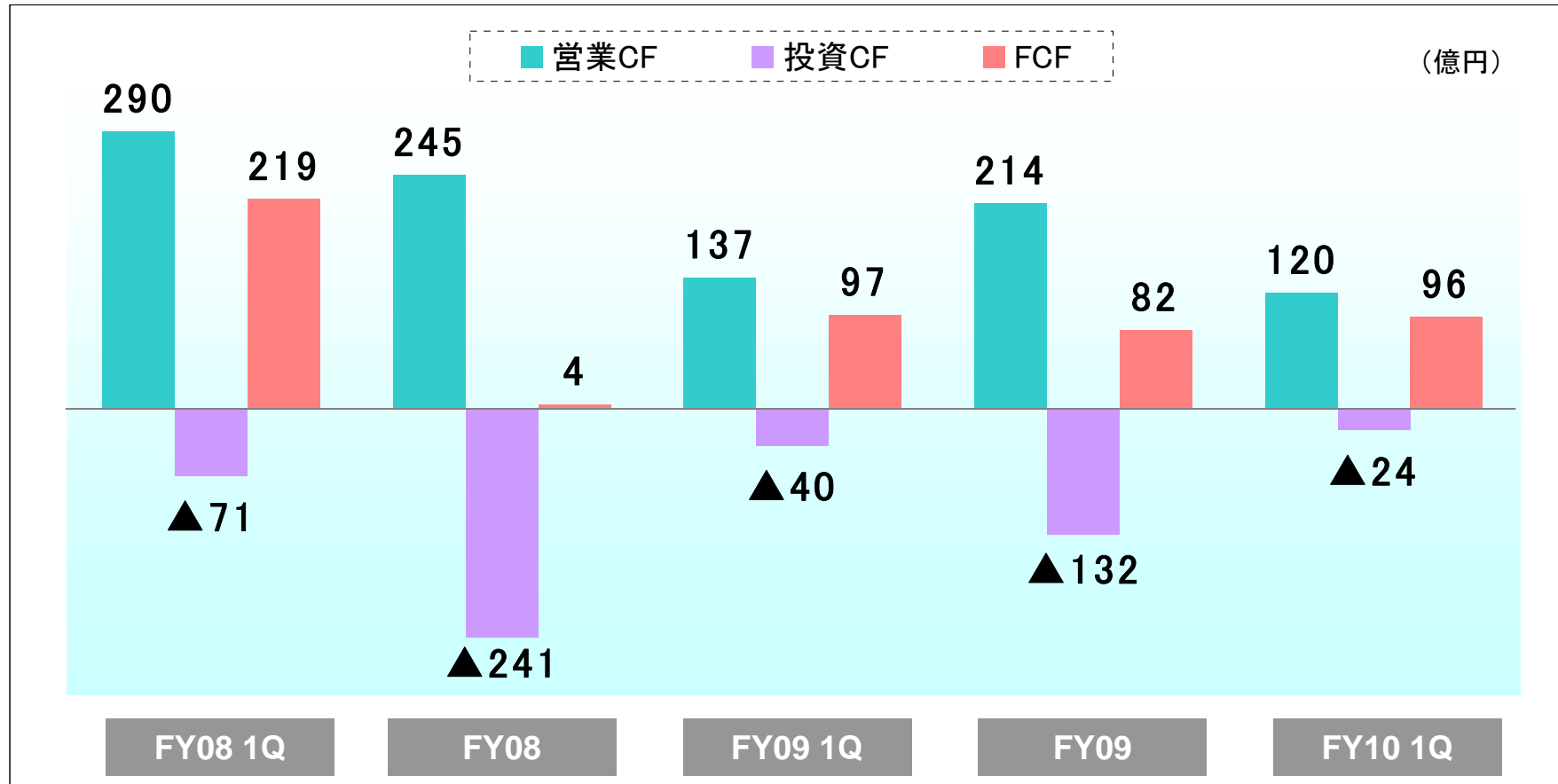
負債・資本推移



	FY08	FY09 1Q	FY09	FY10 1Q
D/Eレシオ	74.3%	71.3%	89.4%	94.7%
有利子負債比率	31.0%	29.5%	34.4%	34.9%

- ◆FY09 4Qに計上した売掛金の回収が進んだことにより、受取手形・売掛金残高が減少
- ◆四半期純損失の計上、その他有価証券評価差額金及び為替換算評価差額金の減少により、純資産が減少

キャッシュフロー FY08-FY10 1Q



◆売上債権流動化残高の減少(FY09末 69億円→FY10 1Q 33億円)等により、営業キャッシュ・フローによる収入が前年同期と比べ17億円減少

◆設備投資の絞り込み等により、投資キャッシュ・フローによる支出が前年同期と比べ16億円減少



FY10 1H 修正計画

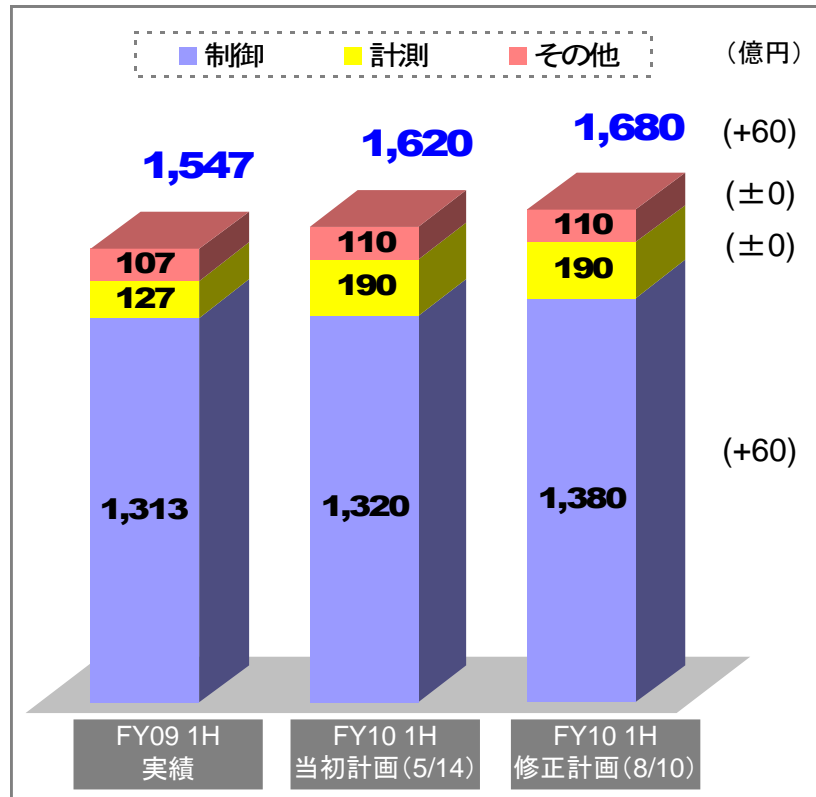
(億円)

	FY10 1H 計画			FY10 年間計画			
	当初(5/14) (A)	修正(8/10) (B)	差異 (B-A)	5/14(C)	8/10(D)	差異 (D-C)	
受注高	1,620	1,680	60	3,400	3,400	0	
売上高	1,550	1,540	▲10	3,350	3,350	0	
営業利益	0	20	20	80	80	0	
経常利益	▲20	0	20	50	50	0	
当期純利益	▲40	▲30	10	0	0	0	
為替レート	1\$= 1€=	90円 130円	90円 110円	0円 ▲20円	90円 130円	90円 110円	0円 ▲20円

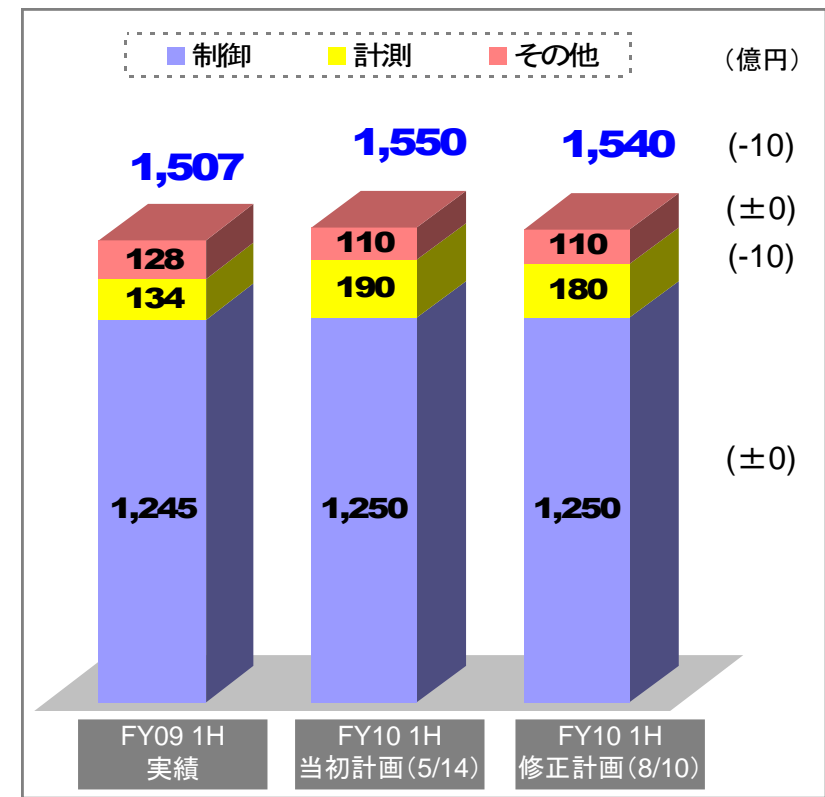
- ◆FY10 1Hの制御事業の受注計画を60億円上方修正、営業利益計画を10億円上方修正
- ◆FY10 1Hの計測機器事業の売上計画を10億円下方修正、営業利益計画を10億円上方修正
- ◆FY10年間計画については、現時点では修正せず、FY10 1Hの決算内容をふまえて見直しを行う

FY10 1H セグメント別 受注・売上計画

受 注



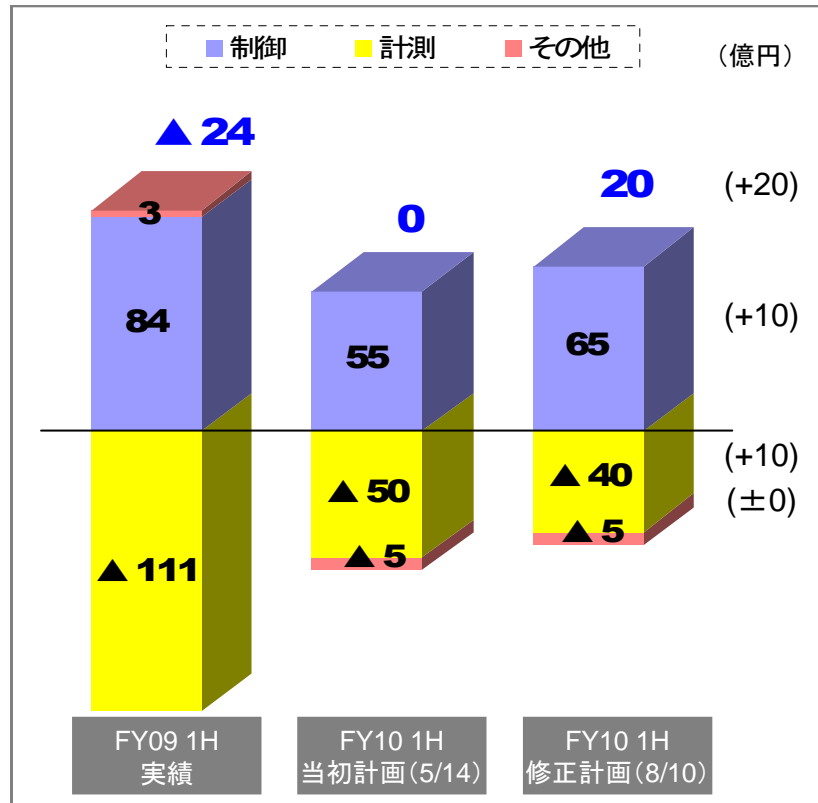
売 上



※FY09 1Hの実績は、セグメント集計方法変更前の数値です。

- ◆海外制御市場での市況回復が進んでいることから、制御事業の受注計画を60億円上方修正
- ◆半導体テストビジネスの主要製品であるメモリ前工程向けテストの市況回復が遅れていることから、計測機器事業の売上計画を10億円下方修正

営業利益

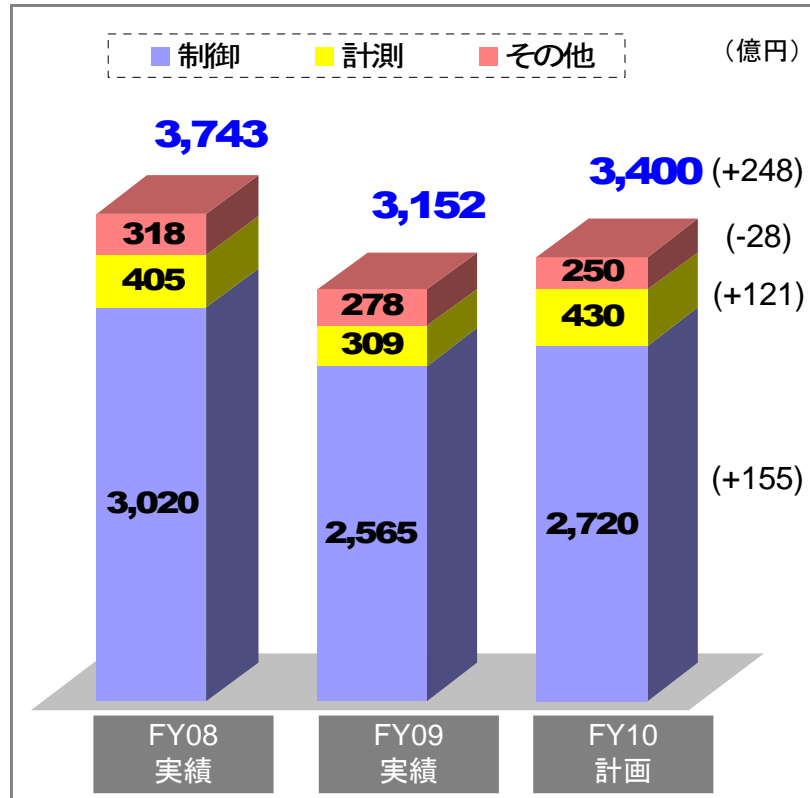


	(億円)		差異
	FY10 1H 当初計画 (5/14)	FY10 1H 修正計画 (8/10)	
制 御	55	65	10
計 測	▲ 50	▲ 40	10
その他	▲ 5	▲ 5	0
合 計	0	20	20

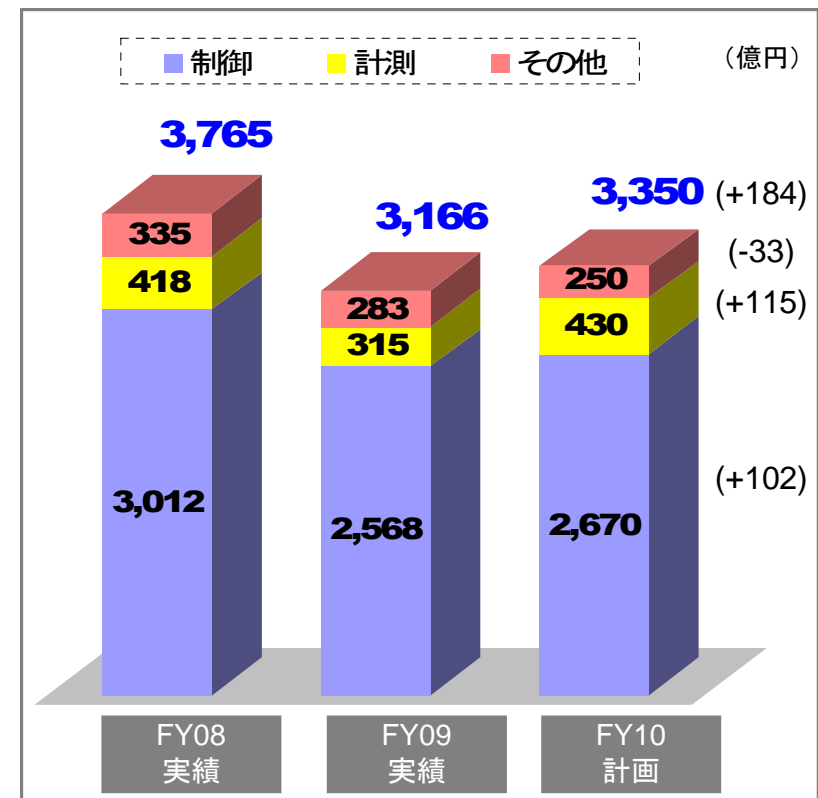
※FY09 1Hの実績は、セグメント集計方法変更前の数値です。

- ◆原価率の改善及び販管費の削減が見込まれることから、制御事業の営業利益計画を10億円上方修正
- ◆売上高の減少を上回る費用の削減が見込まれることから、計測機器事業の営業利益計画を10億円上方修正

受 注



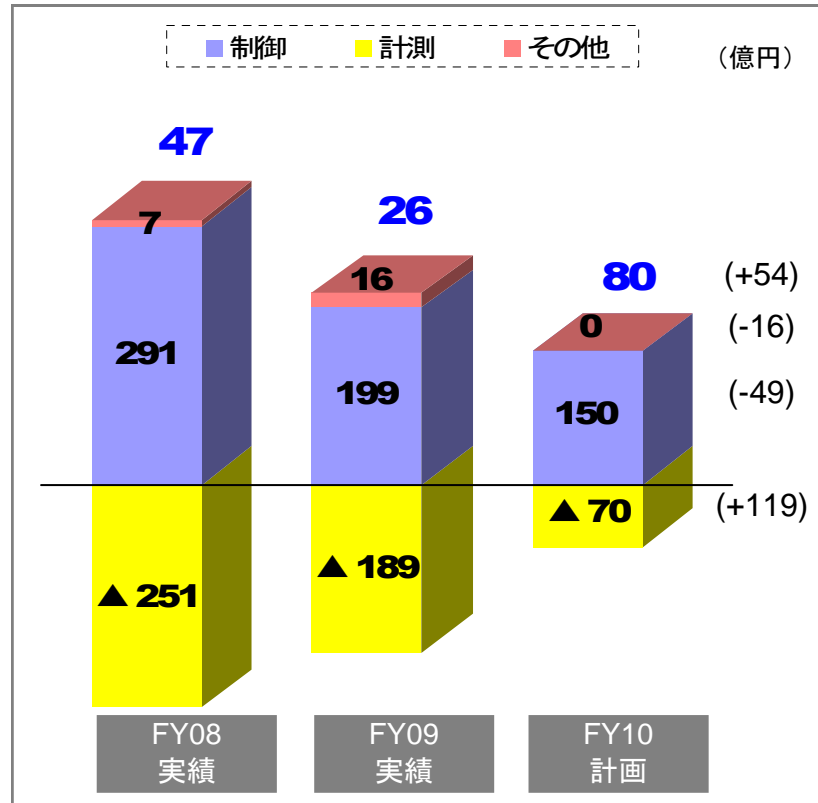
売 上



※FY08、FY09の実績は、セグメント集計方法変更前の数値です。

◆年間計画は今回、修正せず、FY10 1Hの決算内容をふまえ改めて見直しを行う

営業利益



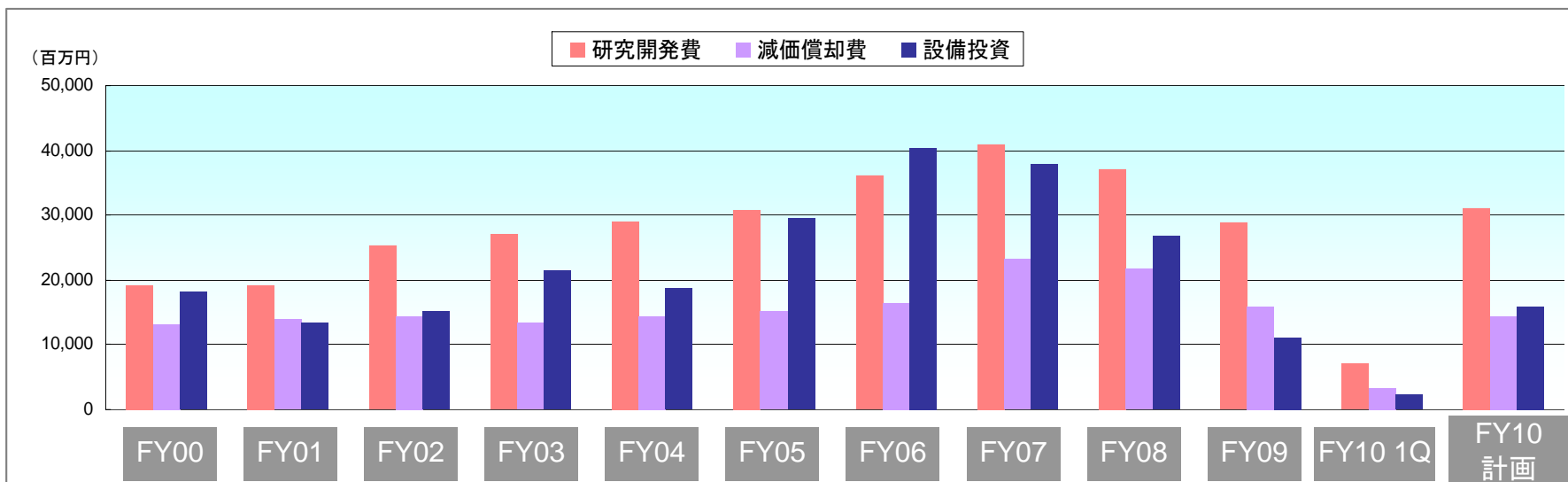
※FY08、FY09の実績は、セグメント集計方法変更前の数値です。

	(億円)		
	FY09 実績	FY10 計画	差異
制 御	199	150	▲ 49
計 測	▲ 189	▲ 70	119
その他	16	0	▲ 16
合 計	26	80	54

◆年間計画は今回、修正せず、FY10 1Hの決算内容をふまえ改めて見直しを行う



研究開発費・減価償却費・設備投資の推移



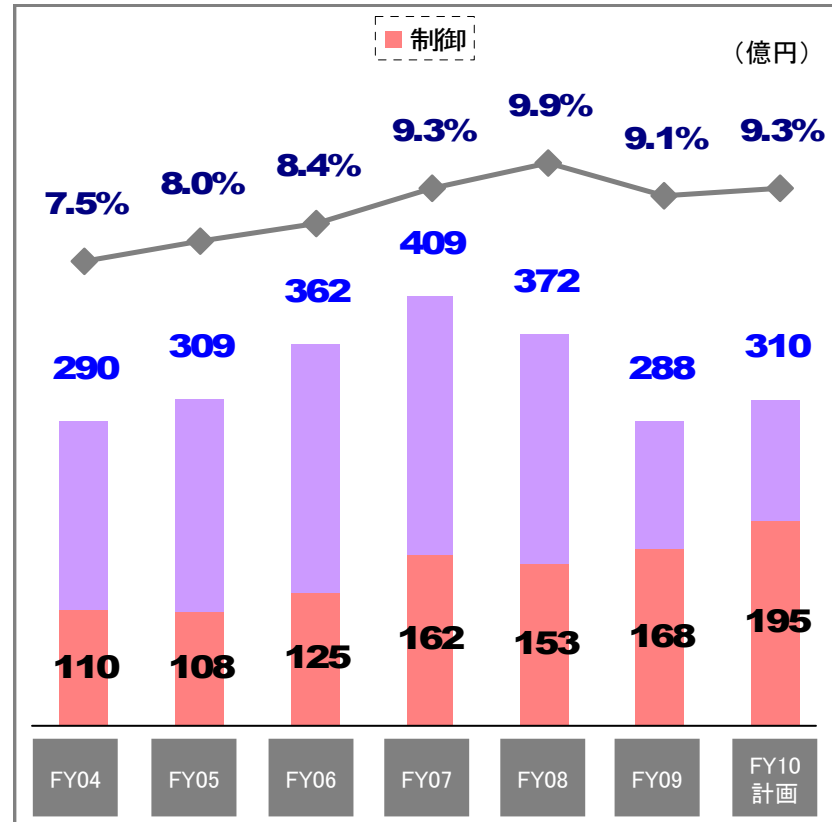
	FY00	FY01	FY02	FY03	FY04	FY05	FY06	FY07	FY08	FY09	FY10 1Q	FY10 計画
研究開発費 (対売上比)	5.4%	6.2%	7.7%	7.3%	7.5%	8.0%	8.4%	9.3%	9.9%	9.1%	10.7%	9.3%
減価償却費 (対売上比)	3.7%	4.5%	4.3%	3.6%	3.7%	3.9%	3.8%	5.3%	5.7%	5.1%	5.0%	4.3%
設備投資 (対売上比)	5.2%	4.3%	4.6%	5.7%	4.8%	7.6%	9.3%	8.7%	7.1%	3.5%	3.5%	4.8%

◆研究開発費、減価償却費、設備投資計画は変更なし

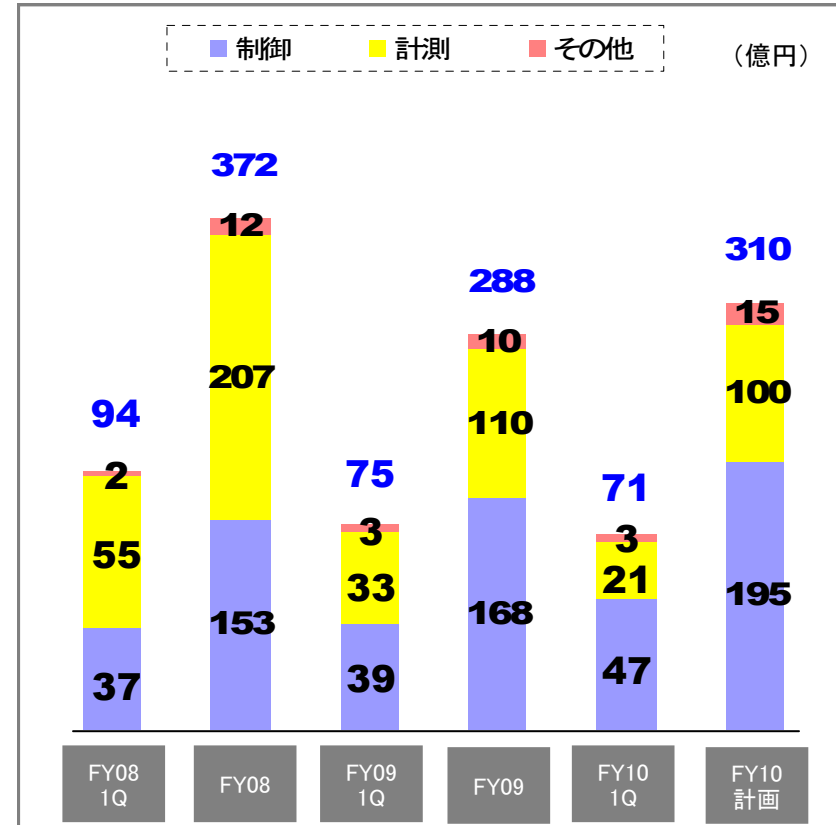
◆研究開発費、減価償却費、設備投資の1Q実績は当初計画を下回る

研究開発費 推移

研究開発費推移



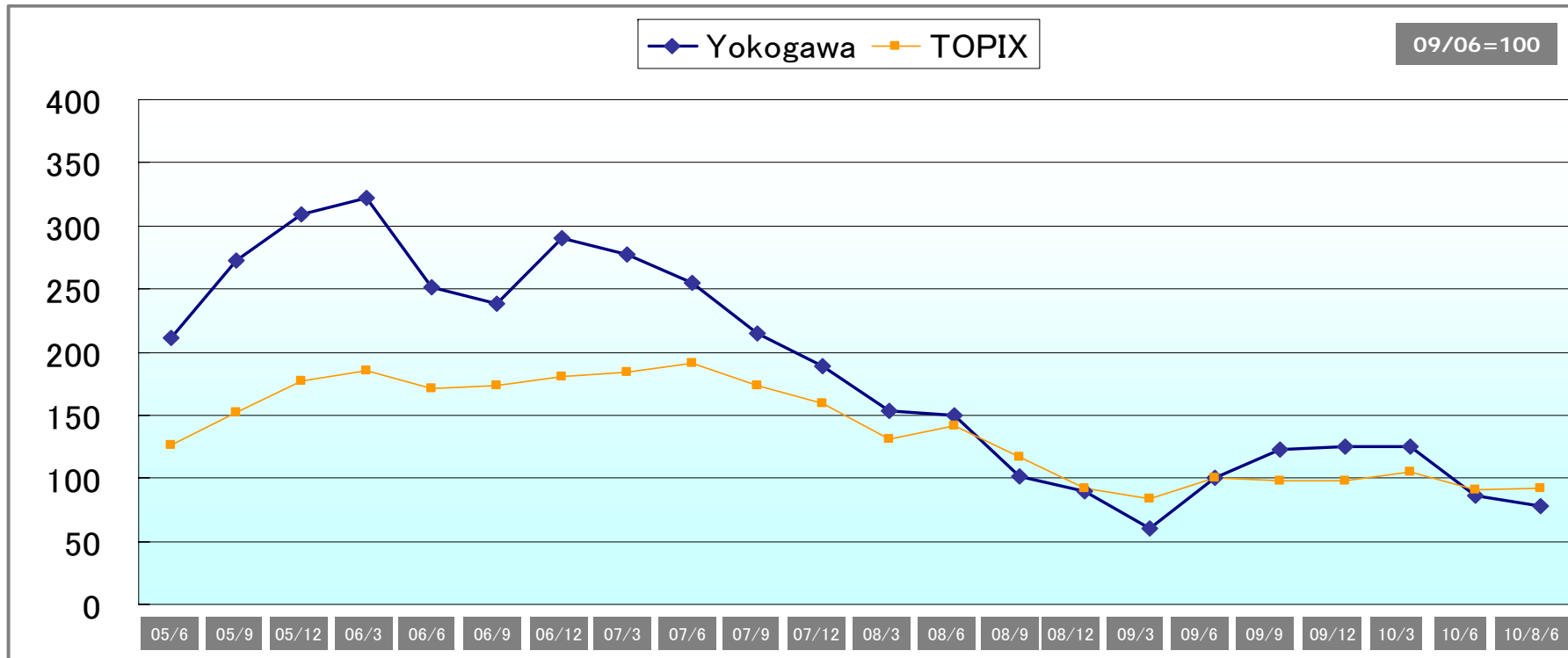
セグメント別研究開発費



◆制御事業の1Qの研究開発費は、製品開発のための投資増により前年同期と比べ増加 (39億円→47億円)

◆計測機器事業の1Qの研究開発費を前年同期に比べ削減(33億円→21億円)

株価の状況



	05/6	05/9	05/12	06/3	06/6	06/9	06/12	07/3	07/6	07/9	07/12	08/3	08/6	08/9	08/12	09/3	09/6	09/9	09/12	10/3	10/6	10/8/6
Yokogawa	1,371	1,772	2,010	2,095	1,631	1,552	1,887	1,806	1,654	1,398	1,228	998	971	659	582	394	650	795	812	814	557	508
TOPIX	1,177	1,412	1,650	1,728	1,587	1,611	1,681	1,714	1,775	1,617	1,476	1,213	1,320	1,087	859	774	930	910	908	979	841	861

	05/6	05/9	05/12	06/3	06/6	06/9	06/12	07/3	07/6	07/9	07/12	08/3	08/6	08/9	08/12	09/3	09/6	09/9	09/12	10/3	10/6	10/8/6
Yokogawa	211	273	309	322	251	239	290	278	254	215	189	154	149	101	90	61	100	122	125	125	86	78
TOPIX	127	152	177	186	171	173	181	184	191	174	159	130	142	117	92	83	100	98	98	105	90	93

本資料およびアナリスト説明会で提供する情報のうち業績見通し及び事業計画等に関するものは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいております。従って、実際の業績は、様々な要因により、これらの見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。